

バスケット

道選手権  
帯広地区予選

高校バスケットボールの全国選手権(インターカップ)につながる道選手権帯広地区予選会(帯広地区バスケットボール協会主催、道高体連十勝支部共催)が16、17、18日にサンドームおとふけなどで開かれ、男女共に帯大谷が優勝した。男子は決勝リーグ最終戦で白樺学園を86-65で下し、白樺学園の15連覇を阻み初優勝。女子も白樺学園との決勝リーグ全勝対決を103-68で制し、2連覇を達成した。帯大谷と準優勝の白樺学園男女は11月10、12日に小樽市で行われる道大会に出場する。(小野寺俊之介)



電子版に複数写真



【男子決勝リーグ・帯大谷ー白樺学園】第1Q、帯大谷の5菊地瞬がファーストブレイクを決めて、25-18とリードを広げる

# 帯大谷男女制す

## 男子初宿敵の15連覇阻止 ともに白樺学園下す

試合終りのブザーが鳴ると、帯大谷の選手、ベンチ、コートサイドの保護者が歓喜に沸いた。白樺学園の15連覇を阻止し、初優勝の快挙。「春、夏と1勝1敗で最後の決戦は絶対に勝ちたかった。ここまで大変なことあったが、最後にチームが一つになった。大内晴尊主将(3年)は満面の笑みで語った。



男女そろって優勝を果たした帯大谷

インターハイ予選の負け得点も奪えるようになってきた。内と外の良い相乗効果が攻撃に勢いを生んで



【女子決勝リーグ・帯大谷ー白樺学園】帯大谷の中村華凜(手前)がリバウンド争いを制し、得点につなげた

### 女子はスピードで圧倒

#### 体作りに成果 3季連続優勝

1、2年チームの帯大谷女子は、最後の大会と気概を持って臨む白樺学園、帯広南商ら他校の3年生を抑え込み、春、夏、秋と3季連続優勝で力を証明した。決勝リーグで2勝同士の対決となった白樺学園戦は、毎クォーター20点以上を記録。継続的に取り組んできた脚力、体幹強化の成果を発揮し、リバウンドやスピードで圧倒した。

チームの強みの一つは中村華凜(2年)、折笠瑠南(1年)が固めるインサイド。白樺学園戦は中村が23得

で、積極的にシュートを打てる。内と外の良い相乗効果が攻撃に勢いを生んで

### 調子の波大きい

#### 準優勝の白樺学園女子、武田心花主将(3年)の話

○「選手的能力には大差がない。調子の良い、シュート力のある選手からどんどん使う」(宮下真和コーチ)。決勝リーグも12、13人回して臨んだ白樺学園は、帯大谷戦前半にミスが



白樺学園の梅津怜ゲーム主将が長いフレイタイムでチームをけん引した



男子連優勝の白樺学園



女子連優勝の白樺学園

Table with 4 columns: Team Name, Score, Opponent, and Result. It lists the performance of various teams in the tournament, including the final results for the top teams.